

産総研先進ドローン技術コンソーシアム

高高度飛行体WGのご案内

産総研・先進ドローン技術コンソーシアムは、ドローン技術に関係する企業等による会員組織で、国立研究開発法人・産業技術総合研究所が事務局となり、ドローンの製造・運用等の最新技術や研究動向、国の施策・将来技術動向の情報提供、共同プロジェクト立案等の事業を実施しています。

この度、標記の高高度飛行体ワーキング・グループ(WG)を立ち上げることとなりました。産学官の連携を通じて技術開発や社会実装の課題に取り組む仲間を募集しています。(コンソーシアム会員の参加は無料です。)

事業内容

飛行船型や固定翼型ドローンを活用した高高度(成層圏)プラットフォーム技術は、通信・観測・災害・防衛など、さまざまな分野で注目を集めています。日本では産総研の前身である工業技術院で無人飛行船を活用した研究開発が進められ、下図の「ミレニアム計画」のプロジェクトへとつながりました。飛行動力については、これまで、太陽電池で日中に電力を得て、蓄電池で夜間も飛行を続けるものでした。無人飛行船や固定翼機が検討されましたが、それぞれに長所と課題があり、新しい形態・技術要素の検討も必要です。

当ワーキンググループ(WG)では、会員の皆様と一緒に議論を重ね、公的研究開発資金の獲得に取り組んでいきます。また、成層圏に限らず、高高度を飛行する無人機のアイディアがあれば、ぜひ当WGで一緒に検討しましょう。

活動: 技術課題の共有と解決に向けた共同研究の推進

- ・ ミーティング: 技術課題の明確化や研究成果の共有の議論
- ・ 研究開発資金獲得: 実施可能な研究開発の提案と開発資金獲得活動
- ・ 実証実験とフィールドテスト: 実機を用いた性能評価と社会実装の検証(開発資金獲得後)
- ・ 政策提言: 規制緩和や基準策定への意見提出

参加のメリット

- ・ 最新の研究開発動向や政策情報をいち早く入手可能
- ・ 産学官連携の場で、研究者や事業者との交流の機会を提供
- ・ 高高度ドローンの技術・応用分野に関する専門セミナーを開催
- ・ 研究開発活動への参加による知見と工業所有権の獲得



成層圏飛行用模型実験機(2023) 東京大学



ミレニアム計画の概念機(2001-2004)



産総研成層圏往還実験機(1996)

日本の成層圏滞空機の研究開発

※ 事業内容等の詳細は協会ホームページをご覧ください。URL: <http://unit.aist.go.jp>

産総研・先進ドローン技術コンソーシアム 事務局

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 つくば中央第2

国立研究開発法人・産業技術総合研究所 内

TEL: 050-3521-0831 E-mail: M-adtc-info-ml@aist.go.jp

※参加登録の詳細は裏面をご覧ください。



産総研先進ドローン技術コンソーシアム 高高度飛行体WG 参加会員・募集

参加登録 について

- ・当コンソーシアム会員外の方は、先ずコンソーシアムに入会して下さい。
- ・下記申込書に必要事項をご記入の上、事務局まで郵送またはPDF ファイル添付で e-mail 送信してください。
- ・参加費等はコンソーシアム会員は無し。

産総研・先進ドローン技術コンソーシアム 高高度飛行体WG

参加登録申込用 e-mail 送信先: M-adtc-info-ml@aist.go.jp

法人会員・個人会員・協力会員 (いずれかに○をつけて下さい)		申請日		年	月	日
会社名	(ふりがな)					
代表会員名	(ふりがな)					
所属部署						
役職名						
所在地 (個人会員の場合は 自宅連絡先でも可)	〒					
	Tel			Fax		
	e-mail					
	会社 HP					
※法人会員のみ 記入 登録会員名 (連絡窓口)	連絡担当者					
	所属部署					
	役職名					
	所在地	〒				
	Tel			Fax		
	e-mail					
参加費等	コンソーシアム会員は無し。					

注：本登録用紙に記載される個人情報は産総研先進ドローン技術コンソーシアム事業（講演会等のご案内、報告書の送付など）及び産総研からのご案内のみに利用させていただきます。

お問合せ

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 つくば中央第2
国立研究開発法人・産業技術総合研究所 内

産総研・先進ドローン技術コンソーシアム 事務局

TEL: 050-3521-0831 E-mail: M-adtc-info-ml@aist.go.jp